

渋谷区まちづくり審議会

(第36回)

令和7年2月18日

— 速記録 —

渋谷区まちづくり審議会

渋谷区まちづくり審議会会議録（第36回－令和6年度第1回）

1. 令和7年2月18日 午後3時00分開会

2. 出席委員（4名）

小 泉 秀 樹 遠 藤 新 出 石 稔
須 藤 憲 郎

3. 欠席委員（1名）

古 井 貴

4. 出席理事者（2名）

都市整備部長 加 藤 健 三 都 市 整 備 部
都市計画課長 中 村 彰 男

5. 参 考 人（0名）

6. 会 議 次 第

1. 開 会

2. 議 事

議題1 渋谷区まちづくりマスタープラン点検・評価について（報告）

議題2 その他

3. 閉 会

【配布資料】

資料A 渋谷区まちづくりマスタープラン点検・評価について

【加藤都市整備部長】

それでは、改めまして、皆さん、こんにちは。都市整備部長の加藤でございます。

予定の時刻となりました。

本日は、渋谷区まちづくり審議会にお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、区の人事異動により理事に変更がございますので、ご報告いたします。

都市整備部都市計画課長、中村彰男でございます。

【中村都市計画課長】

中村でございます。よろしくお願いいたします。

【加藤都市整備部長】

それでは、小泉会長、どうぞ本日はよろしくお願いいたします。

【小泉会長】

よろしくお願いいたします。

本日は、古井委員から欠席の連絡を受けておりますので、現状で4名の方の参加ですので、条例の会議要件を満たしております。

本日の議事録の署名委員について先に決めさせていただければと思うのですが、署名委員は遠藤委員、お願いできますでしょうか。

【遠藤委員】

はい。

【小泉会長】

あと、出石委員にもお願いできればと思うのですが、よろしいでしょうか。

あと、傍聴人についてなんですが、今日は傍聴人いないということですので、議事のほうに早速進みたいと思います。

それでは、事務局より本日の資料の確認をお願いいたします。

【中村都市計画課長】

それでは、皆様、お手元のタブレット端末より、資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただきました資料A、渋谷区まちづくりマスタープラン点検・評価についてでございます。もう一つが本日の会議次第となっております。資料はそろっておりますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、小泉会長、お願いいたします。

【小泉会長】

それでは、議事の1ということで今日の本題だと思いますが、まちづくりマスタープランの点検・評価については報告事項ですが、理事の中村さんから説明をお願いいたします。

【中村都市計画課長】

それでは、議題1、渋谷区まちづくりマスタープラン点検・評価についての報告事項をご説明させていただきます。あらかじめ送付しております資料Aを用いてご説明させていただきます。お手元のタブレット、もしくはあちらのモニターのほうにも映しておりますので、ご覧いただければと思います。

では、恐れ入りますが、着座にて失礼いたします。

まず、ページをおめくりください。表紙から次のページ、1点目に目的・背景等について、2点目に基礎調査について、3点目にまちづくりの具現化方策の点検について、4点目に区民等意向把握について、最後5点目で今後のスケジュールについてのご説明をさせていただきます。

ページをおめくりください。

初めに、目的・背景等についてご説明をさせていただきます。

ページをおめくりください。

目的でございますが、渋谷区まちづくりマスタープランの点検・評価を行い、2029年度に予定されております中間見直しに向けて、将来像や方針に沿ったまちづくりの状況を把握することとしております。

ページをおめくりください。

背景・概要について、ご承知おきのことは存じますが、渋谷区まちづくりマスタープランは、都市計画法に基づく都市計画マスタープランと区独自のまちづくりの事項を合わせて定めるもので、渋谷区まちづくり条例において渋谷区におけるまちづくりの基本方針と位置づけられております。令和元年12月に策定をされております。

計画期間は、令和2年度からおおむね20年後、2040年までであり、これは渋谷区基本構想と歩調を合わせたものとなっております。

この渋谷区まちづくりマスタープラン第7章におきまして中間年次、2029年度の見直し及び定期的、おおむね5年ごととなっております。定期的な点検・評価を行うこととしております。策定から5年を迎え、将来像や方針に沿ったまちづくりの状況の点検・評価を実施いたしますのでございます。

なお、あくまで現まちづくりマスタープランに対する点検・評価となりますので、成果品内容の修正や差し替えといった見直しは今回行う予定ではございません。

ページをおめくりください。

続きまして、目標についてでございます。主に渋谷区まちづくりマスタープラン第2章及び第7章の点検・評価を行うことを予定しております。社会情勢の変化や定量的なデータ、上位計画などの把握、整理を行うため基礎調査を実施し、抽出された情報を基に点検課題を整理いたします。

これらの基礎調査等に基づき、第5章及び第6章の一部につきましても概況の確認をできればと考えております。また、渋谷区まちづくりマスタープランの実現に向けた庁内の取組などの進捗を確認して、検討課題や必要となる取組などを整理するとともに、区民等を対象にアンケートを実施し、まちづくりに関する評価や意向を把握したいと考えております。

これらの結果をまちづくり審議会及び都市計画審議会にご報告させていただいて、中間年次、2029年度の見直しにつなげてまいりたいというふうに考えております。

ページをおめくりください。

次に、基礎調査についてご説明させていただきます。

ページをおめくりください。

渋谷区まちづくりマスタープラン第2章の点検・評価に向けまして基礎調査を実施いたします。外部要因として、渋谷区のまちづくりを取り巻く状況の整理、人口動態などの基礎データ

の収集整理を行います。

ページをおめくりください。

また、まちづくりの取組を含めた上位・関連計画等との整理を行い、これらの基礎調査により抽出された情報を基に、10年目の見直しを視野に入れた検討課題の抽出を行ってまいりたいと考えています。

ページをおめくりください。

基礎調査の項目でございますが、策定時に実施した項目の更新として3つございます。1つ目として、渋谷区のまちづくりを取り巻く状況について、人口動態などの基礎データは、最新の数値を調査、更新してまいりたいと思います。社会状況の変化につきましては、策定後、社会がどのように変わってきたかを確認してまいりたいと思っております。

2つ目といたしまして、渋谷区の歩みと特色でございます。協働型のまちづくりは、地区計画やわがまちルールなどの最新状況を集めようと考えてございます。地形、自然、歴史などにつきましては大きく変化はないと思われませんが、そちらも見ていきたいというふうに考えてございます。

3つ目といたしまして、まちづくりのテーマでございます。土地利用現況調査を反映させます。それから、その他最新のデータを収集していきます。また、追加の調査項目といたしまして、このページの下の方に4点挙げておりますが、インバウンドの関係、外国人来街者数ですとか来街エリアなどを調査したいと思っております。

それから、コロナ禍の影響、例えばクラブとかライブハウスの営業に大きな影響があったとか報道がされていたりもいたしますし、にぎわいが戻ってきているが中身が変わっていて業態が変わっているとか、そういう可能性もあるため、施設の変遷を調査してまいりたいというふうに考えております。

また、デジタル化、オンライン化、DXやオンライン会議などの普及と、申請の普及というようなものに代表されるような働き方の変化、こういったところもカバーできればというふうに思っております。

3つ目といたしまして、価値観の多様化、ジェンダー論、現まちづくりマスタープランの2章、ライフスタイルの変化のところにはジェンダー論についての言及がなされていないことでもありますので、今回基礎調査として関係の部署に状況の確認等をしてまいりたいなというふうに考えております。

最後、4点目といたしまして、気候変動対策ですね、カーボンニュートラルのお話ですが、SDGsですとかパリ協定、緩和と適用などといった策定後の社会の変化に対応した調査を検討していこうというふうに考えてございます。

ページをおめくりください。

次に、これらの基礎調査や公開されているオープンデータにより抽出された情報を基に第5章及び第6章の分野別・地域別のまちづくり、こちらにつきましても土地利用、市街地整備の方針や各地域、まちづくりの方針などの現況の把握と考察を行ってまいりたいというふうに考えております。

ページをおめくりください。

次に、まちづくりの具現化方策の点検についてご説明いたします。

ページをおめくりください。

渋谷区まちづくりマスタープラン第7章の点検・評価に向けまして、庁内ヒアリングを実施し、まちづくりの担い手を支援・育成していくための各取組の点検や渋谷区の役割の達成状況の確認を行ってまいろうと思っています。

ページをおめくりください。

手順といたしましては、まちづくりマスタープラン177ページ、178ページに記載しておりますまちづくりの担い手を支援・育成する取組、こちらについて庁内のヒアリングを実施しようと考えております。

このページの紫が既にこのときにあった、策定時にあった取組でございます。黒色の文字が策定時に未実施、行われてはいなかったけれどもこういった取組があるんじゃないかなろうかと考えられていたような取組になります。

こういったところの支援、育成の取組、仕組みに対して支援・育成の視点から現状の把握、できているものとできていないもの、あるいは課題の整理などを行ってまいりたいというふうに考えております。

ページをおめくりください。

区民等意向把握についてご説明いたします。

ページをおめくりください。

区民などを対象にまちづくりに関する評価や意向を把握するためにアンケート調査を実施することとしております。まちづくりマスタープランの策定時の区民意識調査は、区民3,000人、無作為抽出でございます、を対象にまちづくりに関する意向調査として20年後の未来像ですとか今後のまちづくりに関する意見、まちづくりへの参加などについて調査を行っております。こうしたものの継続した意向を確認するために、今回の調査対象につきましても策定時と同様の調査内容を想定してございます。

ページをおめくりください。

策定時は、区民等の意向把握を踏まえて4つの20年後の未来像というものを示されております。今回のアンケート調査により渋谷民の意見や要望の推移が変わってきたか、変わっていないかなどを確認できればというふうに考えております。

アンケート調査内容といたしましては、策定時に行ったものにプラスしてまちづくりマスタープランそのものについての認知度、理解度、策定後の変化、それから地域における影響なども併せて探っていきたいというふうに考えてございます。

ページをおめくりください。

最後に、今後のスケジュールについてのご説明をさせていただきます。

令和7年2月、本日ですね、まちづくり審議会を開催させていただきまして、年度明けの5月頃に、関係部署で構成されておりますまちづくりマスタープラン検討委員会の幹事会、こちらを開催した後、6月に受託事業者との契約締結を予定してございます。

その後、基礎調査、ヒアリング、アンケート調査などを行いまして、11月頃を目安にまちづくりマスタープラン検討委員会の幹事会というのを再び開催し、報告、内容の確認をした後、年明け1月頃にこちらのまちづくり審議会及び都市計画審議会にご報告をさせていただければというふうに考えております。

その後、2月には、区民環境委員会での報告を挟みまして、年度末に意見等を反映した形で成果品の取りまとめを行っていききたいというふうな予定でございます。

以上で渋谷区まちづくりマスタープラン点検・評価についての報告事項のご説明を終わらせていただきます。

【小泉会長】

よろしいでしょうか。

それでは、今説明いただいた内容について、各委員のほうからご質問とかご意見をいただければと思います。よろしいでしょうか。いかがでしょうか。

じゃ、私のほうから簡単に質問させていただいてよろしいですか、ほかの皆さんが見ていたいている間に。

区民の意識調査をされるということで、無作為抽出で3,000人の方からご意見をいただくというのは点検としてはすごくよろしいことだと思うのですが、2点ありまして、前回は國學院大學の田原ゼミとの共同で調査をしたというような話があったのですが、今回そのようなことをお考えになっているのかどうかということと、それからもう一点は、今回は点検であって見直しではないので、出てきたアンケートの結果というものは何か活用するイメージがあるのかどうかということを少し教えていただけますでしょうか。

決まっていなければ決まっていなくて全然いいです、まだ本格的には次年度実施ということだったと思うので。

【中村都市計画課長】

ありがとうございます。まず1点目の國學院の田原ゼミとの共同なんですけれども、今のところはちょっと考えてはいなかったところなんですけれども、これから契約に進めていくに当

たって検討はさせていただきたいなというふうには思います。

【小泉会長】

地元の大学ということ、せっかく以前やっていただいたのであれば、前回との比較みたいなこともやっていただけるかもしれないですね。その大学としても渋谷のまちづくりに貢献しているという形を取っていただけると、区と大学との関係、それから大学と周辺のお住まいの方々の関係とか、いろんな意味でプラスになるんじゃないかと思うので、ちょっとご検討いただければということで。

【中村都市計画課長】

ありがとうございます。

それから、2点目のアンケート調査の結果を見直しにどう反映していくのかというような趣旨のご質問かと思いましたが、アンケート調査もそうですけれども、所管へのヒアリングですとか、それから基礎調査の部分も含めて、その5年後、2029年の見直しに向けてこういった新しい考え方ですとか、新しい区民の意向ですとか、そういったものを列挙し、あるいは背景にあるものとか、今後さらに最終、つくったときから20年後のところに向けて修正すべきような点がどのようなものがあるのかとか、まちづくりマスタープランの見直しに向けて必要なものというのを整理できればなというふうに、その整理していくための一つの材料としてこちらのアンケート調査の結果を使っていきたいなというふうに思っております。

【小泉会長】

理解はできたところですが、アンケートの部分とか、それ以外の基礎調査の部分も含めて、せっかくやられるのであれば、一応来年度末でいろんな委員会での意見等も踏まえて成果品の取りまとめということになっているんですけれども、成果品の取りまとめは何となく事務的な書き方になっているので、これをどう庁内で利用するのかとか、あとは区民向けに情報発信するのかどうか等、まだ時間があると思うので、せっかく行った調査の成果というものの活用の方とか方針については是非ご検討いただければと思います。

【中村都市計画課長】

貴重なご意見ありがとうございます。幹事会のほうも開催いたしますので、当然この5年間でうまく行っていなかったところすとか、そういったところには今後の15年間でどう達成していくのかというところの導きにもなると思いますので、庁内での活用というものは検討させていただきたいと思います。あわせて区民の方にも、今回の内容等がどのような形で周知させていただくのがいいのかと、今回のアンケートの中ではそもそもこのまちづくりマスタープラン自体の認知度というのを探っていこうと思いますので、そういったところも低かったりするかもしれませんので、そういったところにも活用というか、底を上げていくということも必要かなというふうに考えております。

【小泉会長】

ぜひお願いします。

ほかの委員の皆様からはどうでしょうか。

じゃ、須藤委員、お願いします。

【須藤委員】

幾つか質問というか確認をさせていただきたくて、この本体ができたときに、8ページに都市計画区域マスタープランが改定予定になっていて、たしか令和3年3月に東京都の改定が行われたと思うんですけども、そのことは今のこのまちづくりマスタープランには反映されていないという認識でよろしいでしょうか。まず1点目がそこです。

【小泉会長】

どうぞ。

【中村都市計画課長】

今、お話がありました東京都市計画のマスタープランの改定、それから、その後に都市再開発の方針の改定、あと、令和4年10月には住宅市街地の開発整備の方針の改定、令和4年6月には防災街区整備方針の改定など、いろんな上位計画に当たるようなものが更新されていますので、そういったものも点検の中で明らかにして、今後の見直しのときには何らか織り込む必要があるのであれば生かしていくというようなところにつなげてまいりたいというふうに考えております。

【須藤委員】

ありがとうございます。

あと、9ページで追加項目が幾つかあって、気候変動の対策なんかも書かれているんですけども、何か昨今、サステナブルからリジェネラティブという考え方の変化もあるようなので、調査の対象が、例えば渋谷の企業、関連企業にかかわらずグローバルな企業の理念とかパーパスがどんなふうに変わってきているのかみたいな調査もやられたらどうなのかなという、これは意見なんですけれども、そんなことを考えながら事前の資料を見させていただきました。これは質問ではないので。

あと、10ページの、これ質問なんですけれども、基礎調査やオープンデータによりと書いてあるところで、オープンデータって今のところ具体的にどんなものを想定されているかというのを教えていただければと思います。

【中村都市計画課長】

すみません、ありがとうございます。基礎調査のほうは、もともとあったもの等を含めてやるという話で、このオープンデータにつきましては、この策定時の後、渋谷区以外のものも含めて何か明らかな、オープンになっているものをどんなものがあるのかというのを抽出するとこ

ろから始めようと思っております、現時点でちょっと具体的にこれというものがあるわけではございません。

【須藤委員】

渋谷区もダッシュボードをつくったり、いろんなところを頑張っていらっしゃるので、そういう常に見える化している部分があるので、こういう5年に1回に限らず、もうちょっといろんなことが随時見えるような仕組みもこういう機会につくられたらどうかと、これは意見でございます。

それから、あと13ページにいろいろな取組、担い手の話が載っていて、エリアマネジメントの話もあるんですけども、私も記憶としては渋谷駅前エリアマネジメントというのがあるというのは承知していて、ただ、これは開発に伴ってできた街区エリマネの集合体というふうに認識しておりますけれども、他方、これまで町会ですとか商店街ですとか、まちづくり協議会ですとか、地域の方々が長年やられているエリマネというものがあって、そういう区別といいますか、そういうものをどんなふうに皆さんに分かっていただきながら、その担い手として進めていくかというところをどんなふうに進めていかれるのかなというのがずっと疑問に思っていたところで、エリマネという名前が適切かどうかも含めて、都市の総合的なマネジメントみたいなのところに行くには一体何が必要なのかみたいな、そういう意見もお聞きするような仕組みがあるといいなと思っています。

以上でございます。

【小泉会長】

どうぞ。

【中村都市計画課長】

今、須藤委員のほうからお話がありました最後の町会等の地縁団体の取組ですとかというものに関しましては、この調査の中で先ほどご紹介がありましたエリマネの話ですとかというところの今の現状や課題等を洗っていく中で地縁団体の方との関係性とか、将来どうしていったほうがいいのかという課題とかも見えてくるかと思しますので、そういったところをきめ細かく調査しながら5年後につなげていければというふうに考えております。

【小泉会長】

とても大事な点だと思います。せっかくまちづくり協議会を立ち上げていろんなところに、大分増えました、協議会が、その協議会の活動も評価したほうがいいと思うし、それ以外の商店街が頑張って、渋谷駅周辺だけではなくて、いろんなところの商店街が頑張っていることもあるし、もちろん町会もあると思うので、その町会の活動含め、ここで扱うまちづくりに近い領域でどんなことができていて、何が課題なのかとか、まちづくり協議会の活動はどこまで何が成果としてできていて、さらに発展させるには何が必要なのかみたいなことが見えてくると

良い。駅前のエリマネとか原資がはっきりあって、しかも経営的にもすごく成功している、日本のエリマネ組織の中では多分1、2を争うような成功例になっていると思うので、それ以外の地域についてどうやって地域管理みたいなものをどのように波及させるかというのは大きな問いになるんだと思うんですよね。なので、そこをぜひ調査していただけるといいのかなと私も思いました。ありがとうございました。

それでは、いかがでしょうか。出石委員、遠藤委員、どちらからでも結構なので、じゃ、出石委員、お願いします。

【出石委員】

ちょっと幾つか質問をまず先に……、まず今日のタブレットの資料に出てくるページ数とこのページ数が1ページずれているのはなぜですか。単純な話。だから、1ページずれていることは何か変わっているんじゃないかというふうに思っちゃうんだけど、これと、例えば今ちょうど私見ているのは、スライド4のところの資料は180となっているんですが、本体、こちらの紙のほうは181なんです。それはなぜですか。内容が変わらなければいいんだけど。特に意味がなければいいです。

【中村都市計画課長】

タブレットの本日の資料にある180ページというのがホームページに出ているものに合わせてあると。すみません、冊子とホームページが1ページずれている形になっているということです。

【出石委員】

それ自体は特に申しませんけれども、なぜかというのは結構気になるところでありますので、1ページ、ホームページには、この本に書いてあることを出していないということだから、それは違う論点として、それで、ちょうどスライド4のところの部分になるんですが、今回の点検・評価というものの根拠を確認したいんですが、これはこのマスタープランの、どちらでもいいんですが、180なら180ページのところの書いてあるこの内容が根拠ですね。ここに書いてあるのが根拠だと。条例じゃないということですね。

【中村都市計画課長】

はい、下の赤枠の中にあります下から3行目のところの定期的な点検・評価ですね。

【出石委員】

条例上はマスタープランの変更となっているんだけど、変更の前に、前というか、その間に5年ごとに点検・評価を行うという、このマスタープランに書かれているのが根拠だと。

次に、まちづくり審議会にこの点検・評価についてかける根拠は何でしょう。条例上の7条3項ですか。諮問はしていないですよ。ということは、7条2項じゃないか、7条3項でいいですか。

【中村都市計画課長】

今、委員おっしゃったとおり、7条3項の規定によりご報告をさせて、ご意見を伺おうというところでございます。

【出石委員】

分かりましたけれども、これ多分、最初にちゃんとそうやって説明しなければいけないと思います。入り口論ですから。それはそれでいいです、今確認しましたので。

それで、中身なんですけれども、ちょっと私も総計審（総合計画審議会）とか行革（審議会）とかをよくやっているんですが、あるいは特別区の中でも事業仕分けみたいなことをやったりしているんですが、大体点検・評価というところのシートなりがあって、この部分が見直しをしないのは分かるんですね、今回、いいんだけど、この例えばK P IでもK G Iでもあれば一番いいんだけど、それに対してこうだった、これについてどうなんだというようなイメージの点検・評価って感じがするんです、通常。ただ、都市マスなんかもそうなんだけど、一般的に、抽象的に書かれているから、どうやってこれ点検・評価、今日の資料にはどこにもなくて、スケジュールとかアンケート、区民等の意見、意向を確認するとかそういう説明は分かりましたが、最終的にこのスケジュールでいくと、例えば令和8年1月のまちづくり審議会の報告って何が報告されるんですか。今の段階のイメージがあったら教えてほしいんですが。

【中村都市計画課長】

まずは基礎調査、ヒアリングアンケートの結果というものがまず一つございます。その後、その結果を踏まえて新しく起こってきた考え方ですとか、それから、もともとやろうとしていたことがどれくらいできているのか、できていないのか、あるいはできていなかったらどういう課題があるのかとか、そういったところを把握しながらというところを、夏場、6月から10月までの間に行ったものの結果をご報告という形を考えております。

【出石委員】

今、事務局の中では、今の説明はやはり抽象的ですよね。どういうふうに最終的にまとめていこうかというのがあるんでしょうか。というのは、点検は今の話ですよね、評価、要するにP D C Aサイクルでいえば、チェックはいいとしてもアクションを変更はしないと、今回は中身は変えないけれども、それをどうだったのか、そしてどうするかというところが、点検だけでなく評価までタイトルも書いてあるんだけど、それを何をしようとしているのかがやっぱり今の説明じゃ分からないんです。

今の段階でそれを出せと言っているつもりではなくて、そこを明確にやっていかないと、それこそ単なるおざなりな形で終わってしまうのが一番気になりますよね。要は、最終的には次の変更のときにつなげていくための中間評価なんだろう。ちゃんとした何かのものが出ないと、ただ、市民の意向はこうだったね、ああだったね、新しい項目はこういうのあるよね、

それだけで終わっていいのかなという、いいんだったらいいんですけど、そのあたりもしかしたらこの議論かもしれませんが、私の意見としては、もう少しある程度客観的な何かの評価をしないと、先に効果が上がらないんじゃないかというのは、ここは意見として申し上げます。

【小泉会長】

どうですか。

【中村都市計画課長】

当初つくったときもこの評価に関する基準的なものですかは特に設定はされてきてはいなかったのかなというふうにはちょっと思っております。そうした中、今回調査・点検を5年たってやっていく中で、最終的な20年後に向けて、あるいは中間の10年後のこの改定見直しに向けて、そうしたものの基準的なものをどう見ればいいのかというところもちょっと考察はしていきたいなとは思っております。

そういう面で、評価というものを数値的ですか、そういうところにしっかり表せるかどうかというのはできる限り考えていきたいなとはちょっと思っているところではございます。

【出石委員】

例えば、別に言葉尻を捉えるつもりじゃないんですが、別に評価しなくたっていいわけじゃないですか。点検をする、よくあるのは、年次報告でもそうですけれども、そういうようなものをしていって、それが積み重なっていって、最終的には次の変更というところにどこを直していこうかということになると思うんですが、その前提の点検がやっぱりそれなりに文章ばかりになっているところなんだけど、これをどう点検するのか。それがないと、市民の意向を聞いたからといって、その部分はどこにどう反映されるの、策定時と同じ項目プラスアルファ、それはよく分かるんですね。なんだけれども、逆に言えば策定時に出了た市民意向はどこにどう反映させるのというのはあるんですね。それがあれば、それがこう変わっているよね、意向がこう変わっているよねというのを組織的に把握してあれば、いずれの変更のときにそこは時代の変化とともに、ここはこう変えていこうというのが出てくると思うんですけれども、そこらあたりを。

【中村都市計画課長】

そちらは資料の16ページのところなんですけれども、当時把握した区民のご意見ですとかは、こちらの4点に整理した形で落とし込んでいっているというような形にはなっております。

【出石委員】

赤枠のところですか。今回は同じ12項目だったよね、聞く中にそこをちゃんとどう変化していくかというのが分かるような意向のアンケート調査になるのですか。

【中村都市計画課長】

意向調査の項目自体は同じものを考えておりますので、そういったところからこの4点に導

き出されたというところのこの4点の結果がひょっとしたら変わってきているのかどうかというところは今回の調査で見ていきたいところだなというふうには考えております。

【出石委員】

あともう一点だけすみません、この点検は、組織的には、要するにまちづくりに関わる部署っていっぱいあると思うんですけれども、どこがやるんですか。

【中村都市計画課長】

点検は私ども……

【出石委員】

だけでやるわけね。

【中村都市計画課長】

はい。点検そのものの事業は私どもがやるんですけれども、点検に当たっては、それぞれの各部署でまちづくりというものには携わっていますので、ヒアリング等に行っていくという形になります。

【出石委員】

ヒアリングは行うわけですね。それはどこかに書いてありましたっけ。

【中村都市計画課長】

例えば、13ページとかに書いてありますけれども、庁内ヒアリングを実施するというところですか、最後のスケジュールのところにありますけれども、まちづくりマスタープラン検討委員会の幹事会というのが各所管の課長の集まりになっておりまして、そういったところに大きく、渋谷区としてのまちづくりを進めるに当たって、各部署がどういったことができていくのか、できていないのかというところをヒアリングしていくという形を考えてございます。

【出石委員】

分かりました。意見としては、今回の点検が空中戦というか、抽象的にとどまってしまわないように、やっぱりある程度KPI的なものはないにしても、地に足のついた検証、点検ができて、それがこの審議会にもご報告されるといいかなと思います。

以上です。

【小泉会長】

ありがとうございます。重要なポイントだと思います。

じゃ、遠藤委員、いかがでしょうか。

【遠藤委員】

ちょっと今ずっと見ながら考えていたのは、この先のどんな評価に向けてこの点検の具体的な作業をしていくのかという、多分それを実際に始めるまでに詰めていくんだと思うんですが、例えばこの挿し図178、179ページのこっちのPDFで、今のこのページですね、ここに

表があって、例えば場所だったら場所というのの中にパブリックスペースの有効活用とか3つあって、具体的にやっていることとして公共施設の活用、学校施設の活用ずらずらとあって、これを庁内で紹介して、何をやっているかというのをリストアップしていくというようなことになるんですかね。

このページはまちづくりの担い手を育成する、支援する取組だから、そういった観点から何をやっているかというようなことを紹介していくような形になっているんですかね。

【中村都市計画課長】

そうですね。紹介しながら、できたか、できないか、できなかったとしたらどんな課題があるのでもうまく行っていないかですとか、できているのであれば、どういったことが後押しにつながっているのかとか、そういったところを整理しながら、もしできていないところにスポットを当てて変えるべきところとか、課題とかの抽出にもつなげていければなというふうに思っています。そういうものを集めていく中で、その後5年度のマスタープランの見直しとかにもし必要な事項が出てくれば、そういったところにも触れていきたいなと、5年後にはこういった視点も必要ですみたいなところを抽出できればなというふうに考えております。

【遠藤委員】

としたときの、その先にどういう評価を考えていくのかといったときに、例えば今の話だと、確かにこのページはまちづくりの担い手を支援する、育成する、だからそういうふうになっていくとは思いますが、多分このまちづくりマスタープランとして考えているまちづくりの守備範囲というか、広がりも多分もっと広がったりしますよね。例えば、学校でいうと、渋谷区ではそれこそ新しい学校づくりとか始めていて、子どもたちが学校の例えば環境を利用しながら新しい学習をしているとか、それが子どもたちの渋谷ならではの教育につながっているとか、例えばそういった面ってそういうことを意識して拾い上げていかないと拾えない項目になっていくような気がするんですよ。

多分、そうやって考えたときに、これってこの3ページ目かな、そもそものまちづくりマスタープランはまちづくりに関する事項プラス都市計画マスタープラン、それを包含するものというふうに考えられていて、私、渋谷区のお仕事で、どっちかというと都市計画ばかりやっているのでもそこが気になったんですけども、ただ、多分このまちづくりマスタープランはどっちかというと都市計画に関することの外側のまちづくりに関する事項に結構重点を置いて計画を立てて、この実現の方策なんかを定めているのかなという、ちょっとそういうふうな印象も持ったんですよ。

それはそういう認識で正しいのか、でも、そうはいつでも広く町をハードな面も含めてどういうふうにつくっていく中でまちづくりが実現されていくか、進んでいくのかというふうに考えると、さっき言ったみたいな新しい学校づくりの中での子どもたちにとってのいい学校がで

きてきて、子どもたちも満足度であったり、教育の成果として上がっているみたいなことがきちんとこの調査の中で項目を立てて拾い上げていけるのかというところがちょっと気になったところですよ。

広げ過ぎると、多分これ1年じゃできないから、どんなふうに絞るのかなということを考えていたところなんですけれども、このマスタープランをつくる時にそういった都市計画、広い意味での都市計画の視点とまちづくりの視点というものを結びつけていたのが、たしかこの80ページ、81ページのこのマトリックスだったと思うんですよね。これをつくるのにすごく長い時間かかったような記憶があるんですが、多分これと言っているA、B、C、Dという4つのまちづくりのアプローチと呼ばれるものが都市計画まちづくり、包含するものをまちづくり側の視点から見る、一番大きなたしか枠組みだったと思うんですけども、こういう視点を意識して何か評価に向かってあまり狭くなり過ぎず、大事なところを拾い上げられるような調査の項目が立てられるといいのかなというところまで考えていたんですよね、具体的にいうところまで今考え切れず、ちょっとそういった感想を持ちました。

以上です。

【中村都市計画課長】

ありがとうございます。今おっしゃったところは、資料の10ページのところに少し記載させていただいておるんですけども、ご説明してまいりました基礎調査、ヒアリングなどをしていく中で、この5章、6章、今ご紹介ありました80ページ、81ページのところがまさに5章と6章の分野別のまちづくりのところとかが書かれておりまして、その中で、今おっしゃったようになかなか全部にスポットライトを当てるのは厳しいところがあるんで、幾つか抽出する形にはなるかと思うんですけども、それぞれが書かれている方針の実現性がどのような形で進んでいるのかというようにところも見ていきたいなというふうには考えております。

幾つかやることで、またさらに5年後の見直しのときにはもうちょっと手厚く、分野別ですとかまちづくりのところをもっと見たほうがいいんじゃないかというところにもつなげていければなというふうには考えております。

【小泉会長】

どうですか。

【遠藤委員】

難しいですよ、具体的にどんな項目を、そのときの視点としてさっきの4つの枠組みで項目を立てられればいいのかなどは思ったんですが、ちょっとそこも含めてご検討いただければいいのかなと思います。

【小泉会長】

9ページに資料の、今日の資料ね、投影資料の9ページを見ていただくと、まちづくりのテ

ーマというのがあるじゃないですか。多分ここが遠藤委員が言われたことで、確かに土地利用は入っているんですが、でも、人口動態ってまちづくりのテーマじゃないかもしれないね、よく考えてみると。道路、公園というのは施設として見てしまうと、例えば都市マスの80ページ、81ページ、今ご指摘いただいた箇所との対応関係でちょっと見ていたんですけども、道路、公園と言ってしまうといろんなところに関わりがあるので、どの観点を一番重視するのかをピックアップしていただいたほうがいいのではないかと思います。

例えば、縦軸のところでいうと、人々が生き生きと過ごせるパブリックスペースの創出みたいな項目があって、そこと何か例えば交差するところのこのあたりを重点にするみたいなのが、何らかの理由でそこを検討しますとか、道路であればもうちょっと、渋谷の文脈でいうとやっぱり交通なんですかね。人中心の道路空間整備みたいなところですかね、例えば。そのところの進捗を見たいということで、特に例えば渋谷駅周辺について見ますとかでもいいんですよ。この項目、今ご提示いただいているものだと、マスタープランとの対応関係が読み取りづらいということもあるので、今の遠藤委員のご意見も踏まえてフォーカスするポイントというのをもう少し具体的に考えていただいて、それが恐らくどういう評価になるんですかという出石委員のご懸念にも応えることにつながるような気がするので、そこを検討いただくと良いと思いますが、いかがでしょうか。

【中村都市計画課長】

ちょっと、どれをとというのは、今……

【小泉会長】

今答える必要はないと思いますけれども。

【中村都市計画課長】

今おっしゃったようなところで分野というか、スポットを決めてちょっと掘り下げていくというようなところ……

【小泉会長】

事前というか、多分各所管課に進捗の確認をするという話があったじゃないですか。そこで進捗したものでも評価しなきゃいけないところがあるかもしれないので、進んでいないというのももちろん課題点なのかもしれないけれども、できたけれどもこういう課題があるんじゃないかみたいなことも含めて多分所管課からよく話を聞き出すとフォーカスするポイントが見えてくるような気がするのです。

どうぞ。

【須藤委員】

皆様のご意見、私も賛同いたします。

他方、3ページに書かれているとおり、渋谷区の総合計画的に見ると長期基本計画があって、

それから分野別の計画がたくさんあって、そこにはちゃんと評価できる計画ものっているんで、例えば80ページの自転車のネットワークというのは、自転車の走行環境整備計画というのがありますから、それは多分区の中では長期基本計画か実施計画か分かりませんが、評価を何年かごとにやっているはずなので、そこでこれぐらい進みましたよというのが数字として見せられるものが必ずあると思うので、それはちゃんとマスタープランと対応して進んだよというのを見せていくのがいいのかなと思います。

【小泉会長】

よろしいでしょうか。ほかにはご意見いかがでしょうか。

大丈夫ですかね。

とても重要な点をご指摘いただいたと思いますので、いただいたご意見を参考にしてぜひ意義のある点検・評価をしていただければと思います。よろしくお願いします。

じゃ、本件については、報告に対して意見を出したという形で一応議題を終了したということにしたいと思います。

その他の議題について、何かありますでしょうか。お願いいたします。

【中村都市計画課長】

まず、次の開催でございますが、先ほどご説明の中にもありましたけれども、来年1月頃にご報告ということを考えてございます。開催の際には、日時については改めて調整をさせていただきたいというふうに考えてございます。

また、今年の11月をもって皆様の委員の任期というものになってまいりますので、年度明け、令和7年度になりましたら改めてご意向のご確認等をさせていただきながら進めてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

【小泉会長】

よろしいですかね。

じゃ、他にご意見なければ、これで本日のまちづくり審議会は閉会としたいと思います。よろしいですか。

それでは、お忙しい中、ご参集いただきありがとうございました。本日はこれで閉会としたいと思います。

ありがとうございました。

午後3時56分閉会